議案審議

一般会計予算や条例の一部改正などに対する質疑応答の内容を、要約して紹介します。

村長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 高橋七重議員

今回の改正は、人事院が民間との格差是正するための条件に該当させていいのか疑問である。本村は、原材料の高騰をもろに受ける生産工場が多く、ボーナスが上がったなどと言う話は聞こえてこない。こんな状況でこの議案を出す事自体納得できない。村長は、本村の現状をみてどのように思うか。

答 村長

町村長の期末手当改正案は、議会の可否によるが、適正なものと思っている。基本的には、人事院勧告に基づき議案を提出している。

答 総務課長

村長等の生活給でもある期末手当引き上げは、これまで同様管内町村でも行われている。村長として果たすべき役割は重要。その職責に見合った適正な水準に引き上げることは必要。

討論

反対 高橋七重議員

人事院勧告とはいえ、本村の現状をみれば、従う必要もないのではないか。また、村長等は、任期ごとに退職金がある。引き上げ率が多少でも、実施すべきではないと思うので反対する。

賛成 永瀬成元議員

新型コロナウイルス感染症及びロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギーや原材料価格の高騰、円安等の要因による物価上昇のため、日常的不安が発生している。その生活支援の一環として、県の勧告に準じて村長等の期末手当の年間支給割合を引き上げることについて賛成する。

（採決　賛成10・反対1）

議員の報酬に関する条例の一部を改正する条例の制定について

討論

反対 高橋七重議員

議案55号と同じ理由に、議員の報酬は生活給ではない事を付け加え、反対する。

賛成 荒川英義議員

福島県人事委員会の勧告に準じてまた、現在の物価高騰の中においてこの議案については賛成する。

令和4年度平田村一般会計補正予算（第7号）

問 三本松和美議員

道路橋梁総務費委託料として登記委託料55万円を計上しているが、どの場所の未登記解消費か。また、逆水論田線の小平字沼田地区の道路工事の登記は未登記と見ているが、どう考えているのか。

答 産業建設課長

今回補正の登記委託料は、「よもぎ荘」の増床計画に先立ち、道路や水路の分筆・表示登記と合わせ、一部地目変更の未了部分である。逆水論田線の未登記の部分だが、全体的な延長が2．3キロほどあり、改良事業を進めていく過程で、登記について解決していきたい。

再々問 三本松和美議員

この場所の公図と登記簿を確認したら、公図には道路の図面が引かれていない。

また、登記簿では地目が田となっており、所有は平田村だが、本来であれば公衆道路とならなければならない。9月議会でも、産業建設課長は「現在改良工事を行っているが、用地の買収登記は事業着手前の業務であり、登記ができない部分については工事の着手とはならない。」と答弁している。また、総務課長は未登記については「大きな問題である。できる限り予算化して一筆でも未登記解消できるように努めたい。」と答弁している。

そうすると、逆水論田線は答弁通りになっていない。確かに2．3キロが整ってからと言う考え方もあるが、このままにしておいてはいけないと思う。

再々答 産業建設課長

逆水論田線は、新しい幅員の広い道路ということで継続事業を行っているが、地目の変更がされていない部分については、今後の事業の中で公衆用道路という地目に変更していきたい。

問 三本松和美議員

商工観光費の需要費380万円はジュピアランドひらたのゴーカートコースの安全対策のためウォーターフェンス整備と、備品購入費としてゴーカート三台分の35万円を計上する説明があった。

しかし、支出科目から一般財団法人平田村産業振興公社（以下公社）が支出する分と考えるが。

答 企画商工課長

蓬田岳森林公園は今年度から公社を指定管理者に指定し、施設の維持管理運営にかかる費用について公社が負担している。

しかし、村と公社で締結した基本協定書では、蓬田岳森林公園の改造・改築・大規模修繕等の整備は、村の負担と責任で実施する事としており、今年度村ではゴーカート場の整備を行っている。今回の予算計上は、村有財産としてゴーカート場整備に付随する機材を購入するものなので村が負担すべき経費となる。

再問 三本松和美議員

令和元年度の芝桜まつり、アジサイ園の収支決算状況を確認すると、花あるひらた村づくり委員会の報告書では、修繕費としてカート修理費を支出している。

また、備品購入費としてはカート一台とカメラ代を支出している。

このように過去にも支出は別会計で行われているので、公社が支出すべき。

再答 企画商工課長

基本協定書の中で備品等の経年劣化等により業務に支障をきたす場合、両者の負担で、備品修繕等を行うことができるとする協定を締結している。

ゴーカートは今後、村の財産として管理していくため、公社ではなく村の予算で対応をしたい。

再々問 三本松和美議員

今年度末の公社の収支状況は、1800万円程度がプラスになってくる見込み。そうすると、カート代等の必要な機材等は公社で対応できる。

再々答 企画商工課長

ゴーカートの機種仕様等の検討をしてきた中で、現予算が不足するため、今回補正予算として計上した。